

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手意識をもって工夫して話したり、聴いたりすることに課題がある。</li> <li>様子を想像して物語を作ることができるが、自分の考えを整理して、文章に表すことに時間がかかる児童が多い。</li> <li>物語文の場の移り変わりと登場人物の気持ちの変化を読みとったり、説明文の構造や内容の把握をしたりすることが苦手な児童が多い。</li> <li>新出漢字の習得に個人差があり、既習の漢字を使って文章を書くことが定着していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識を確認してから活動し、事後は、話した内容を再考する場を設ける。</li> <li>全校朝会の話のを要約し、それに対する自分の考えを書くなど文を書く機会を増やしたり、様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やしたりしながら、文章を書く機会を増やす。</li> <li>場面の移り変わりや展開に応じた行動の違いに印や線を入れ、文に沿って読むことを繰り返す。</li> <li>目的を意識して、中心となる語や文を見付ける。</li> <li>間違えやすい漢字を抽出し、小テストを繰り返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手を見て話したり、5W1Hを意識して話を聞いたりすることができた。</li> <li>○調べたことや自分の考えたことを文章に詳しく書くことができた。辞書を使ったり、ことわざや慣用句を使ったりしようとする姿勢が育ってきている。</li> <li>○登場人物の気持ちを想像するための根拠に線を引くことで、文に沿って読むことができた。</li> <li>△漢字の習得に差があり、学期末のまとめテストで8割正解出来ない児童が3割程度いる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や写真などの資料から情報を読み、考える力が必要である。</li> <li>情報の整理の仕方や、調べたことを絵地図・新聞などに表現する力を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を身近なものとして考えられるように、実際に地域に出かける活動を取り入れる。</li> <li>資料を読む活動を多く取り入れ、資料の見方を指導する。また、ICT機器を活用して、効果的に捉えさせる。</li> <li>ペアや少人数で分かったことや考えたことを伝え合う時間を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自身の生活経験をもとに、社会的事象について考えることができた。</li> <li>○資料の見方や、数値の意味などを確認しながら、資料を読み取る力が身に付くようにした。</li> <li>△読み取ったことから、どのようなことが考えられるのかという思考の繋げ方に苦手さを感じている児童が見られた。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量感覚を身に付けたり、文章問題などの状況をイメージしたりする力を伸ばす必要がある。</li> <li>考え方をノートに書いたり、説明したりする力を高める必要がある。(相手に分かりやすい図を使った説明の仕方を伸ばす。)</li> <li>単位の理解や換算の仕方の定着が必要である。</li> <li>計算力に個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章題の言葉に注目させ、分かっている内容や問われている内容を色分けして区別する。</li> <li>算数的活動の中で具体物を操作して理解できるようにする。</li> <li>図や数直線を書いて考えさせることで、状況を整理させる。その上で、考えをノートに書いたり、説明したりする経験を積ませる。また、友達と話し合う機会を多く設け、考えや説明の仕方を精選できるようにさせる。</li> <li>友達の考えを、自分の言葉で紹介するよう促す。</li> <li>実測したり、実物を用いたりして、数量感覚を実感させる。</li> <li>けやきタイムなどを利用して、東京ベーシックドリルに取り組み、基礎基本の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章に線を引いて、確かめながら読むことで問題の状況を理解することができた。</li> <li>○長さや重さの学習では、具体物を操作して、測る活動を取り入れたことで理解が深まった。</li> <li>○図や数直線で考えることに慣れ、表現できる児童が増えた。友達と話し合う機会を設定することで、説明する力が高まった。</li> <li>○友達の意見を聞く時間には、自分と相手の考えを比べ、違いをノートに書き入れる姿が少しずつ見られるようになった。</li> <li>△けやきタイムに基礎基本の定着を図ったが、計算力には、依然として個人差が見られる。</li> </ul>

理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・実験や観察の目的をつかむこと、実験や観察の結果から考察することに苦手意識がある。</li> <li>・身近な出来事と結び付けて考える力を伸ばす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題把握→予想→実験・観察→結果→考察を基本とし、児童が見通しをもって活動したり、考えたりできるようにする。</li> <li>・結果をノートや記録カードに記し、それを基に、考察できるように促す。</li> <li>・児童にとって身近な事象を提示したり、実体験を話し合わせたりする活動を増やし、日常生活と結び付いた学習問題を設定できるようにする。</li> </ul>	<p>○生活での経験をもとに予想を立てたり、結果と考察の違いを考えたりすることができた。</p> <p>△結果をもとに、考察につなげることに難しさを感じている児童が多くいた。何度もくり返して習慣化していきたい。</p>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーへの興味・関心をもって学習に取り組む、音色や奏法に親しんでいる。正しい奏法の定着の様子を個別に把握しながら指導を続ける必要がある。</li> <li>・明るい声で歌い続けることができる。旋律の音の動きを感じ取って歌う学習を増やし、特徴の理解に繋げる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い言葉での指示を続け、準備をルーティーンにして習慣付くようにし、ちょうどよい息遣いや姿勢の保持で吹けるようにする。舌の動きだけを確認する時間を設けるなど、ポイントを明確にした学習で奏法の定着を図り続ける。</li> <li>・安心して歌える学習環境を整え続け、よい姿勢でのびのびと声を出すように促す。旋律を歌う時間と聴き取る時間を設け、旋律の動きを感じ取れるようにする。</li> </ul>	<p>○吹くための準備の約束は定着し、息遣いに気を付けて吹くことができるようになった。</p> <p>△姿勢の持続が難しい児童がいる。</p> <p>△息だけで音を吹き分けてしまう場合があるため、今後も継続して指導する必要がある。</p> <p>○明るく積極的に歌おうとする児童が増え、旋律の特徴を感じ取ることができるようになってきた。</p>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞で自分の作品や友達の作品の良さを見つけることが難しい児童がいる。</li> <li>・接着剤や個人用絵の具などの用具の扱い方が不十分な児童がいる。</li> <li>・身近な自然や人工物を基に想像してつくる体験が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が率先して作品の良い部分を伝え、児童に鑑賞するポイントを掴ませる。</li> <li>・ICT機器などを活用し、用具の扱い方について観察させたり、共有したりする。様々な用具を扱う授業を多く設定し、経験を積ませる。</li> <li>・身近な自然物や人工物を観察したり、触ったりする活動を取り入れた題材を設定する。</li> </ul>	<p>○ワークシートやICTを活用することで、気軽に鑑賞活動ができるようになった。</p> <p>○カッター、金槌、釘等の用具を正しく扱うことができた。</p> <p>△工事で校庭が使えないこともあり、自然物との関わりを生かした活動が少なくなってしまった。</p>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて経験する運動内容にも挑戦しようとしている。</li> <li>・技能や思考に個人差がある。</li> <li>・ゲームで勝敗にこだわってしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料やICT機器を活用して見通しをもたせたり、体育ノートを活用したりして、めあてをもって取り組めるようにする。</li> <li>・技能のポイントを紹介する。段階別の課題を設定し、自分に合う場で練習させる。</li> <li>・体育ノートに、運動を行って「気付いた点」「疑問点」「友達のよさ」を記入することで、学習を振り返ることができるようにする。次時に紹介し、課題等を共有する。</li> <li>・肯定的な言葉掛けを例示する。</li> <li>・個人やチーム等の課題解決を考えることを中心に取り組む。</li> <li>・相手の立場に立って考えることや、礼儀の大切さを考えることを促す。</li> </ul>	<p>○映像資料を用いて、学習の見通しや技能のポイントをイメージ出来るようにしたことで、より意欲が高まった。</p> <p>○体育ノートを活用し、自身の運動や、友達の動きについて振り返りができるようになったことで、考えて運動する児童が増えた。</p> <p>○「相手がいるから試合ができる」を常に意識させ、対戦相手への礼儀について考えさせた。</p> <p>△技能のポイントは理解しつつも、身体がイメージの通りに動かせない児童がいる。</p>

道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を発言する児童とそうでない児童で差が見られる。</li> <li>自分自身の生活を振り返ることが難しい児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数のグループワークを取り入れたり、ICTを活用したりして、児童同士で発言し合えるような授業作りを行う。</li> <li>自分自身の生活を振り返る時間を十分に取ったり、机間指導の際に個別に支援をしたりする。</li> </ul>	<p>○ICTを活用したことで、全員が自分の意見を相手に伝える機会を作ることができた。</p> <p>△自分自身を振り返ることに対しては、依然として個人差が大きい。</p>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>スライド形式にまとめ、発表することを楽しんでいる。</li> <li>調べる方法の取捨選択が難しく、調べ方が分からない児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習以外でも積極的にタブレットを活用する。</li> <li>調べる前に、調べ方についての指導を行う。</li> </ul>	<p>○タブレットの扱い方は上手になってきた。</p> <p>△発表の際に、相手意識をもって発表できるようにさせたい。</p>
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回の授業で、楽しみながら学習している。</li> <li>リスニングに苦手意識をもっている児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きALTと連携しながら児童が楽しく学習できるようにする。</li> <li>英語の聴き取りに自信が無い児童には、日本語で内容を伝えながら支援する。</li> </ul>	<p>○視覚的な教材を多く用意した。</p> <p>△日本語で内容を伝えることも多いが、英語を聞き取ることに苦手意識をもっている児童がいる。</p>